

かさま 社協だより

No.58



編集・発行 2025.12.18

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会
E-mail info@kasama-syakyo.jp

笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730

笠間市社協



子育てサロン くるくる

撮影 畠山

も く じ

- 1 子育てサロンくるくる・大学生ボランティア紹介 2
- 2 お役に立ち隊勉強会・いきいき通所事業 協力ボランティアを紹介します その③ 3
- 3 『社協』を知っていますか？その⑪（災害ボランティアセンター運営訓練）・
ちょっといい話 4～5
- 4 ボランティアセンターだより 6～7
- 5 社協会員会費実績報告・ふれあいサロン交流会・社会福祉士養成実習報告 8
- 6 善意銀行・赤い羽根街頭募金報告 9
- 7 インフォメーション・心配ごと相談所開設日程表・編集後記 10



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

子育てサロン



代表 深澤 加菜



子育てサロンくるくるとして令和7年7月より活動しています。子ども同士、親同士の交流だけではなく、笠間に住む様々な方との関わりやご縁がくるくる巡るようにとの想いをこめ「くるくる」と名付けました。

9月には縁日を開催しました。ボランティアの方にもお手伝いしていただき、射的や輪投げなど6種類のゲームを行いました。また、社協よりお借りしたかき氷機やわ

かき氷



スーパーボールすくい



たあめ機などを使い、本格的な味や縁日の雰囲気を楽しむことができました。ボランティアの方がご好意で作ってくださったきなこ棒も好評でした。

現在0歳から12歳の子どもが集まって活動しています。年齢の幅がある為、全員が楽しめるように考えるのは大変ですが、楽しかったの声を励みに今後も様々なイベントを計画していきたいと思っています。

笠間で働いている外国人との交流や居場所作りも行っていきたいと考えています。不定期開催ですが、ご興味のある方は社協までお問い合わせください。

大学生ボランティア

私が見る世代を超えた地域のつながり

茨城大学人文社会科学部 飯山 泰平



話し合いの場 (協議体)



笠間市福原出身の私は、各地域の協議体とボランティア・サークルのバザー夢工房に参加しています。生活支援体制整備事業では、地域の人々が情報を共有し、つながりを作るための話し合いの場(協議体)を推進しています。各地域の協議体に参加すると、地域ごとの特徴や歴史と伝統、地域住民の温かさを感じることが出来ます。それらは一見社会的価値のないもののように見えるかもしれませんが、しかし、それらは重要な気づきであり、地域に今何が必要とされているのか、私たちが何をすべきなのかを考える材料となるのです。

そして話し合い生まれた支え合いの活動や関係は、世代を超えた新しい人を取り込み、大きく強くなっていくでしょう。ボランティア・サークルのバザー夢工房では、メンバーの皆様にお金で何でも手に入る時代に生きる私にとって、不要なものを材料として再利用し、自らの手で再び命を宿していく技術と精神は、貴重な学びとなります。また、バザー当日は多くの方々に手作りの素晴らしさを伝えることができました。縫物を通じて、私たち地域住民のつながりを再認識することができたのです。

お役に立ち隊勉強会

地域福祉センターともべ



8月26日(火) お役に立ち隊勉強会を開催しました。新たな人材発掘として今年度発足し、初めての勉強会です。

初めに、社会福祉協議会の鷹松丈人会長からの講話「社会福祉協議会とは」があり、地域福祉における社協の役割、ボランティアの重要性を学んでいただきました。

その後は「ボッチャ交流会」で大盛り上がり！心も体もホットな時間となりました。

最後に社協各事業の説明とボランティア講座の案内があり閉会となりました。

11月現在、個人22人と、3事業所が登録。地域での活動をスタートしています。

祝敬老

いきいき通所事業

9月に敬老会を開催しました。

いつまでも元気で通い続けてほしいという願いを込め、様々な形で会を盛り上げました。



友部地区 すみれこども園の皆さんとダンス



笠間地区 『お役に立ち隊』北畑さんによるマジック・腹話術



岩間地区 お饅頭をいただいてほっこり



12月はクリスマス会を実施し、2月には節分祭を予定しています。

これからも皆さんが元気に長生きできるよう、楽しく刺激のある企画を考えていきます。

いきいき通所事業

協力ボランティアを紹介します!

その③



レクリエーションボランティア
体操・ゲームなど



めだかクラブ
読みがたり・紙芝居など



ハッピーマロン
読みがたり・紙芝居など



ハートレインボー
歌・楽器の演奏



マサカース
歌・ギターの演奏



シルバーリハビリ体操
指導士会 笠間支部



スクエアステップ笠間支部
フレイル予防体操



藤本流三味線 秀雪梅
三味線の演奏

『社協』を知っていますか？



災害ボランティアセンター運営訓練

午前は室内で講義、午後は外で模擬訓練を行いました



- ・災害の時、学んでおけば、すぐ行動できる (IT未来高3年)
- ・ボランティアに興味があり、研修会で学びたい (IT未来高2年)
- ・ボランティアをする時、スムーズに活動できるので (40代男性)

11月23日(日)、地域福祉センターともべにて「災害ボランティアセンター運営訓練」を実施しました。

午前には講義を中心に理解を深め、昼食は災害・救援ボランティア「友援の会」の炊き出し訓練によるカレーをいただきました。午後は実際の災害を想定し、役割に分かれて演習を行いました。

講義①

災害ボランティアセンターと社会福祉協議会

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
参事兼福祉のまちづくり推進部部長

中村 英一氏

「災害ボランティアセンター」とは、被災者の生活再建の支援を目的に、ボランティアの力を

つなげる(届ける)役割を果たします。泥かきやガレキ撤去作業だけでなく、被災者の困りごとにあわせて支援します。

ボランティアの力を被災者につなげるためには、災害ボランティアセンターの運営を支援するボランティアも必要です。「ボランティアセンター運営の三原則」は、①被災者中心②地元主

体③協働です。

なぜ社会福祉協議会が災害ボランティアセンターに関わるのでしょうか。それは地域を基礎に活動し、平時から「ボランティアセンター」という機能を有していることがあげられます。また、全国的なネットワークを持つて

いることも大きな要因です。災害ボランティアセンターの運営には、たくさんの担い手が必要であり、被災した地域のことをよく知っている人が不可欠

です。社協が中心となり、地域の様々な担い手の参加と協力により、災害ボランティアセンターを運営することが求められます。



講義②

「災害ボランティアセンターを通じた地域のつながり」

全日本仏教青年会支援の会、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議委員

茨城県社会福祉協議会防災活動アドバイザー

米沢 智秀氏

災害ボランティアセンターは「ボランティアの力を借りたい」被災者の想いと「被災者の力になりたい」ボランティアの想いをつなぐ場所(ところ)です。

コロナ禍で、ネットで情報のやり取りをするICT化が進み、ボランティアセンターの運営も大きく変わりました。しか

し、被災者のニーズの聞き取りや活動報告等、人間同士でなければ出来ないこともあります。

能登半島地震やその後の水害等、ボランティアセンターの設置や運営の経験から学んだことも数多くあります。大切なことは、個別の課題を地域で把握し対応することです。住民主導になることで、支援の抜けや漏れ

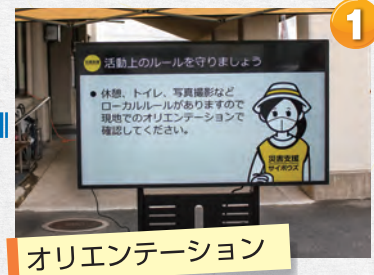


をできるだけ少なくすることが出来るからです。



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

訓練当日の様子



オリエンテーション



ボランティア受付



活動調整・グループづくり



活動資材・物資準備



配車・活動場所への送迎



片付け・活動報告

災害ボランティアセンターとは？



災害ボランティアセンターは、災害時に設置される被災地でのボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。

被災地のニーズを把握し、被災地内外から来るボランティアを受け入れ、活動に必要な人数などを調整します。また、ボランティアを希望する方の要望にあわせて活動ができるよう、道具の準備や貸し出しも行います。活動後は結果や気づいたこと、要望などを集約し、その後の活動に活かします。

日頃から自治会やボランティア団体などとお付き合ひのある社会福祉協議会が、行政やボランティア等と協働し、災害ボランティアセンターの運営を行います。

災害時だけでなく、平時からの地域のつながりが防災や復興の大きな力となります。

ちよっといい話



地震・雷・火事・親父。日本には様々な災害がありますが、どれも予測が難しく、いつどこで起きるかわかりません。備蓄や避難の確認は大切ですが、もう一つ、欠かせない備えがあります。

それは「地域とのつながり」です。ひとりですべてをやるにしても、声をかけ合える関係があれば助け合えます。逆に、普段から孤立していると、災害時には「人災」とも言える事態につながりかねません。

しかし、これは災害時に限った話ではありません。日ごろから「お互いさま」の関係築いておくことが、いざというとき互いに命を守る砦になります。

あいさつ・声かけ・ちよっとした助け合い。そんな日常の積み重ねこそが、地域の防災力を高め、誰もが安心して暮らせる、共生のまちをつくる礎になるのだと思います。

(入江)

センターだより

くりを目指して

「第一火曜日の会」では、「伝えたいことを伝わりやすくする」「言葉だけでは伝えられないことを伝える」という「デザインの役割」を学びました。

「先生方の研修会」では、「児童思春期の支援について」をテーマとした講演会を開催しました。

「笑育講座」では、乳児や動き回る幼児を「お家でヘアカット」するコツを学びました。

「笠間市ボランティア連絡協議会」が3支部合同で開催。ポツチャを通して和気あいあい、会員相互の親睦が図れました。

笠間市地域女性団体連絡会が、全国社会福祉大会で表彰されました。おめでとございます。

「福祉バザー」が友部・笠間・岩間の各支所で開催されました。

ふるさとまつり in かさま



売上 209,416円

10/19

友部支部

友部公民館



講師はボランティアセンター推進員の米川さん
地域福祉センターともべA館

10/28

「第一火曜日の会」
デザインのおはなし 8人参加



売上 100,583円

11/1

笠間支部

社協笠間支所



アレンジに挑戦

9/25

笑育講座

「お家でヘアカット」 10人参加

講師は市内の美容室「フェリシダージ」小澤美晴さんにおお願いしました。乳児や動き回る幼児の髪をカットするコツをお聞きしました。参加者からのへ



託児付き

ヘアアレンジの仕方の質問に答えてもらい、マネキンヘッドを使い一人ひとりが講師の指導を受け、自分の希望するアレンジに挑戦しました。時間が足りないくらい有意義な講座でした。

連絡協議会交流会



子どもたちの悩みや不安に寄り添った支援ができるよう、学校や病院だけでなく、地域全体で支える体制作りが求められます。社会福祉協議会も、その一助となるよう、様々な取り組みを行っています。

子どもたちの悩みや不安に寄り添った支援ができるよう、学校や病院だけでなく、地域全体で支える体制作りが求められます。社会福祉協議会も、その一助となるよう、様々な取り組みを行っています。

8/18

先生方の研修会

「児童思春期の支援について」
こころの医療センター 27人参加

県立こころの医療センター福祉連携サービス部医療福祉相談室室長 和智萌さまを講師に、市内の幼稚園・保育園・こども園・小中高等学校の先生方を対象に行いました。



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。



11/12

全国社会福祉大会表彰

笠間市地域女性団体連絡会事務局 高島 弘子

11月12日（水）浅草公会堂にて、笠間市地域女性団体連絡会会長（池田瑞江）の登壇表彰の名誉に預かることとなりました。

これもひとえに、笠間市社会福祉協議会様の長年の変わらぬご指導ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

この度の受賞は、昭和34年設立の長い歴史の中で、赤い羽根共同募金活動を行いながら、笠間市の公民館活動による生涯学習や家庭生活を支えたり、平和運動を鑑みながらの北方領土返還運動、当時の国民病で悩まされ続けた結核病撲滅、また差別問題を含ん

だハンセン病への取り組み等を行ってきた結果です。歴代の会長たちが本当に一生懸命、笠間市のために当会員をまとめ活動し尽力したと自負致します。この度の池田会長への役員他東京随行を機に、思い出深い歴代の会長への報告会にしたいと存じます。ありがとうございました。

ボランティア

住みよいまちづ

皆様のご協力に感謝

令和7年度

福祉バザ

雑貨は机にならべて



売上は、地域福祉活動に活用させていた

11/8

岩間支部

社協岩間支所



売上 179,450円

和室で値段付け



11/19

令和7年度

笠間市ボランティア

236人参加 笠間市民体育館

笠間市ボランティア連絡協議会ポッチャ交流会を実施しました。岩間・友部・笠間地区のボランティアが参加し、各地区の代表3人より選手宣誓が行われました。その後参加者の皆さんで元気よく準備運動からスタート！ 競技がはじまると、初めて会う方同士でも会話が弾み、ポッチャを通して交流を深めることができました。今後も様々な企画を考えていきたいと思ひます！

今後の
ボランティア
講座案内

令和7年度

食事づくり講座

令和8年1月21日（水）
28日（水）

内容

季節の食材を使った
お弁当作り



笑育講座

令和8年2月18日（水）

内容

大福づくり



傾聴ボランティア講座

調整中



エンターテイメント講座

調整中



※詳しくは「広報かさま」お知らせ版をご覧ください。内容が変更になる場合があります。

令和7年度 社協会員会費経過報告

皆様のご協力
ありがとうございました

合計 18,309,269円

令和7年10月31日現在

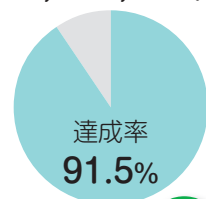
令和7年度目標額
20,000,000円

皆様にご協力いただいた会費は、社協が地域福祉を推進するために必要な財源として最も重要なものです。

これからも住民の皆様と共に、地域の実情に合わせた地域福祉活動に取り

組んでいきます。

社協会員会費を活用した取り組みの一部としてふれあいサロン活動をご紹介します。



8/25

サロン交流会を開催しました

地域交流センターともべ



モルックに挑戦

最初は少し緊張しましたが、競技が始まると次第に打ち解け、楽しく交流できました。高齢者や障がい者も気軽に参加でき、地域福祉活動にもヒントとなる交流会でした。

グループ分けはランダムに行い、初めて顔を合わせる方もいらっしゃいましたが、IT未来高等学校の生徒さんも各グループに加わり、世代を越えた交流が生まれました。

当日は、「eスポーツ」「オーバルボール」「モルック」「ラダーゲッター」の4種目を体験。参加者は4つのグループに分かれ、それぞれのブースで新しいスポーツに挑戦しました。eスポーツの体験は、



eスポーツの説明を聞く

未来を照らす"ふくし人" ひと

社会福祉士養成 ソーシャルワーク実習生紹介

地域の温かさに触れた24日間
笠間市社会福祉協議会での24日間の実習を通して、地域の繋がりがや住民の皆さんの協力があるからこそ、さまざまな事業が成り立っていることを実感しました。人のために行うことが結果として自分の力にもなり、「支える」ではなく「支え



茨城キリスト教大学
黒澤 愛

合う」ことが地域福祉の大切な軸であると感じました。また、支援が届きにくい方のもとへ向うアウトリーチ活動を通して、言葉だけでなく環境からその人を理解する大切さを学びました。今回の経験を今後の学びや将来の支援活動に活かしていきたいです。



聖徳大学
佐藤 天音

学びを活かして未来へ
笠間市社会福祉協議会で24日間のソーシャルワーク実習を行なわせていただきました。配食サービスや第二層協議体など、さまざまな事業に参加させていただき、地域の方々の温かさや支え合いの力を感じまし

た。職員の皆様から優しく丁寧に教えていただき、学びの多い毎日でした。お忙しい中ご協力くださった社協の職員の皆様、地域の皆様には心より感謝申し上げます。今回の経験を今後の学びに活かし、地域に寄り添える社会福祉士を目指して頑張っていきたいです。



実習の成果報告会



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



令和7年7月1日～令和7年10月31日まで(順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ・使用済み切手・
食品・日用品など



片岡登記子
永原勝美
笹嶋郁子
リリーベール小学校 藤本紫峰
不動院
旭化成メタルズ(株)
(有)伊藤石材工業
岡本興業(株)
(有)笠間給食センター従業員一同
(株)笠間ソフトメン橋本屋
かさま歴史交流館井筒屋
(株)ミカミ笠間営業所
キヤノンモールド(株)
鴻池運輸(株)
佐久間重機興業
(株)三栄製作所
サンエツ工業(株)
J A常陸笠間地区女性部
(有)菅谷葬儀社
セキスイハイム工業(株)関東事業所

千波鐵工(株)
泰榮電器(株)
(株)ダイナム
ハッピーわんす
美容室リ：バース
鳳台院
真知美容室
(有)エスプリ篠崎
ライフサポートひかり
笠間高等学校
笠間高等学校JRC部
稲田小学校
岩間第一小学校
稲田小児童クラブ
岩間第一小児童クラブ
みなみ学園児童クラブ
岩間保育園
大沢保育園
くるす保育所
おしのべこども園
すみれこども園
大成学園ともべ保育園
大成学園いなだこども園
大成学園かさまこども園

こじか幼稚園
さくら幼稚園
ともべ幼稚園
ドレミ幼稚園
退職公務員連盟笠西支部笠間分会
退職公務員連盟笠西支部岩間分会
退職公務員連盟笠西支部友部分会
土師地区社会福祉協議会
日吉町区
オリーブ友部館
県立中央病院
(施設課・消毒室・リネン室)
小規模多機能型
居宅介護事業所ゆりのき
岩間郵便局
笠間市消防本部笠間消防署
市役所笠間支所
匿名(7件)

金 銭

ゆかいふれあいセンター 6,480円
匿名(4件) 16,000円



赤い羽根共同募金 街頭募金報告

たくさんのご協力ありがとうございました!



赤い羽根共同募金は「じぶんの町をよくするしくみ。」をスローガンとし、みんなで助け合い支え合う地域づくりを応援する募金です。皆様よりご協力いただいた募金は、笠間市の福祉活動に活用されるほか、福祉団体への助成や災害時の被災地支援等に役立てられます。今後も皆様のあたたかいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



友部駅



イオン笠間店



道の駅かさま

インフォメーション *information*

地域づくり合同集会を開催します

本集会は、各関係者が集まり、地域の活動発表や講演会を通じて、福祉に対する理解と関心を深め、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指すことを目的に開催します。

日時 令和8年3月14日(土)
10:00~12:30 (開場9:30)

場所 友部公民館大ホール

定員 240人

内容 支部地区社協等団体からの活動報告
講演 「孤立にならないための
地域社会で健康に暮らす方法」
講師 茨城県立こころの医療センター
副院長 太刀川 弘和 氏
医師 小川 貴史 氏



福祉車両をご活用ください！

車椅子のまま乗車できる車両（軽自動車）を貸し出しています。

○貸出場所 社協各支所
※事前申し込みが必要となります。

○使用時間 8:30~17:00

○料金 無料
※ガソリン代負担あり



身近にできるボランティア 始めてみませんか

社協(本所・支所)でお預かりします

エコキャップ運動

キャップはきれいに洗ってね



入れ歯リサイクル

ブリッジでもOK
消毒してね



使用済み切手収集

切手の周囲に1cmの余白を取って台紙ごと切り取ってね
消印が残っているものは消印ごと切り取ってね



心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でもご相談ください(無料・秘密保持)

時間: 13:00~16:00 (受付は15:30までをお願いします)

	社協笠間支所 [第2・4火曜日] TEL 0296-73-0084	地域福祉センターともべ [第2・4水曜日] TEL 0296-77-0730	地域福祉センターいわま [第1・3木曜日] TEL 0299-45-7889
1月	13日・27日	14日・28日	15日
2月	10日・24日	25日	5日・19日
3月	10日・24日	11日・25日	5日・19日
4月	14日・28日	8日・22日	2日・16日

※その他、法律相談もあります。事前に「心配ごと相談」へご相談ください。

ツバメは渡り鳥。東南アジアから日本に飛来し、巣作り・子育てをします。福祉センターともべの軒下にも、毎年6月ごろ来ますが、今年は姿を見せません。待っていましたよ。ついに来ました。巣作りを始めました。

『社協だより』では、ボランティアセンターの事業内容などを掲載しています。各地域の多彩な交流活動なども紹介しています。活動場所は市内に無数にあり、皆さんの集まるのを待っています。0歳から誰でも待っています。

人生百年時代。いつでも、どこでも声かけ合って集まり、おしゃべり会をして、いっぱい笑いましょう。

編集後記

(寺門)



SNSのご紹介



(旧ツイッター)

